

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	カミヤト凸凹文化教室（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	令和8年 3月 1日		～ 令和8年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	家庭数13	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	令和8年 3月 1日		～ 令和8年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 1日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・未就学の頃より利用してくれている家庭が多く、利用者だけでなく保護者の方々にとっても、文化教室を気持ちの拠り所にして頂けている	・送迎などの際に、利用者に合わせた保護者とのコミュニケーションを大切にしている。また、お仕事などで直接会えない家庭に対しては、日々の連絡帳で丁寧なやり取りを心がけ、保護者支援に繋げている。	・活動の様子のお知らせとして、既存のSNS（インスタグラム）を活用し、文化教室全体としての様子をお伝えしていく。 ・新しいスタッフの得意や強みを生かした活動を充実させていく。
2	・保育園の敷地の中にあることで、保育園児や保育園スタッフなど、多様な交流が自然とできている。	・保育園スタッフと連携し、小中学生の利用者が園児と一緒に遊んだり、乳児クラスのお手伝いをするなどで、役割を持って活動することができている。	・可能な限り放課後デイサービスの利用者についての情報を保育園スタッフと共有し、支援について留意すべき点を理解して関わってもらう。
3	・文化教室の部屋だけでなく、保育園の敷地全部を活動場所として使用することができる。 ・周辺の環境を活動に生かすことができる（近所の広場など）	・部屋遊びだけでなく、園庭などを活用して、日常的に開放感のある活動ができる。 ・天気の良い日は徒歩圏内の広場に行き、体を動かして遊ぶ日を設けている。	小中学生の活動として、長期休みなどの際に事業所の車で離れた場所の公園に行くなど、園外活動も充実させていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・個別の場所、落ち着けるスペースの確保 ・静かに過ごしたい、自分の活動に没頭したい利用者に対する活動保障	・保育園と連携できる良さの一方で、騒がしい場所が苦手であったり、同年代だけで過ごしたい利用者もいる。	・場所を分けることが難しい場合、時間で『今は小中学生の時間』と区切ってクラブ活動を行うなどする。 ・部屋の配置を工夫し、より落ち着ける場所を作る。
2	・園内に段差が多く、バリアフリー化がされていない	・建物としては車いすなどで利用する想定がされておらず、肢体不自由の利用者にとっては自分で手洗いなどをすることが難しい。	・ハード面で難しい部分は、福祉用具などで補っていくことを検討する。
3	・より一人一人に合わせた活動や、視野を広げられる活動の充足	・ある程度好きな遊びが決まっているため、活動プログラムがやや固定化している。	・色々なスタッフの意見を取り入れ、視野を広げられるような活動を提供していきたい。